





# 1 音更町の概要

## (1) 音更町の位置

本町は、十勝平野の中央部に位置し、東西約 28.7km、南北約 32.8km で、総面積 466.09 km<sup>2</sup>を有し、東端に南北に走るオサルシナイ丘陵を除いて概ね平坦で音更川を中央に 3 つの河川が十勝川に注ぐ道内で屈指の穀倉地帯となっています。また、南は十勝川を隔てて帯広市及び幕別町、北は士幌町、西は鹿追町及び芽室町、東は池田町に接しています。

## (2) 沿革

本町は、安政 5 年（1858 年）に松浦武四郎が初めて足を踏み入れたと言われ、明治 13 年（1880 年）に岩手県人大川宇八郎が定住したのを機に入植者が増え、明治 34 年（1901 年）に音更ほか 2 村（然別・東士狩）に戸長役場が開設されました。

その後、2 級村、1 級村を経て昭和 28 年（1953 年）に町制が施行されました。さらに、昭和 40 年代から住宅団地の造成が行われたこともあり、人口が比較的順調に増え続け、平成 22 年 10 月に実施された国勢調査人口は 45,085 人、道内最大の町として発展を遂げています。

## (3) 自然条件

気候は寒暖差の激しい内陸性気候です。平成 16 年から平成 20 年では、年平均気温 6.4℃、降水量年間総量 728.2mm、平均日照時間 1,970 時間となっており、昭和 52 年以降の最高気温は平成 19 年に 36.2℃、最低気温は平成 12 年にマイナス 32.1℃が記録されています。

## (4) 産業

本町は十勝川が育んだ広大な大地と美しい自然に恵まれ、日本を代表する穀倉地帯として発展してきました。基幹産業は農業で、良い品質と生産性の高い農業経営を目指して、土地基盤の整備や農業技術の普及向上を図っています。中でも畑作は小麦、小豆、大豆等が作付面積、生産量とも全国でトップクラスです。

また、雄大な十勝平野の中央を流れる十勝川のほとりに「十勝川温泉」があり、北海道遺産にも選定された世界的にも珍しいモール（植物性）温泉と日高・大雪連峰をはるかに望む美しい自然環境に恵まれ、四季を通じて観光客でにぎわっています。

道東自動車道のインターチェンジ（IC）が市街地に隣接して設置され、平成 23 年 10 月には道央圏と直結されたことから、アクセスの向上による音更 IC 工業団地への企業誘致や観光振興への期待が高まっています。



## 1 計画策定の趣旨

わが国では、少子高齢化が急速に進み、団塊の世代が65歳以上となる平成27年には、高齢者の割合が、国民のほぼ4人に1人になると予想されており、本町においても、年々高齢化率が上昇を続けるものと予想しています。

超高齢社会を迎えた今、健康な高齢者が増える一方、ひとり暮らしや認知症高齢者が増加することで、介護に対する需要がますます高まっていくものと考えています。高齢者も社会を支える一員として、生きがいを持って健康で生きいきと暮らせるよう、健康づくりや介護予防の取組がより一層重要になっており、たとえ介護が必要となったときでも、高齢者の尊厳が保持され、誰もが安心して暮らせる社会づくりを推進していく必要があります。

「音更町高齢者保健福祉計画」は、このような状況を踏まえ、今後も着実に進展する高齢化に対応した音更町が取り組むべき高齢者施策を明らかにするものです。

また、「音更町介護保険事業計画」は、介護保険制度の円滑な運営を計画的に実現するために定めるものです。

本町では、平成12年度の介護保険制度の導入に伴い、的確かつ十分な介護サービスを効率的に提供する体制づくりが必要になったことから、密接な関係にある従来からの高齢者保健福祉施策と介護保険事業の目標を定めることを目的として、両計画を一体のものとし、「音更町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（総称：おとふけ生きいきプラン21）」を策定しており、今回は第5期の計画となります。

計画では、第1号被保険者等に対して実施した介護サービス利用意向等のニーズ調査により課題、要望等を把握し、前計画の実施状況や介護サービスの利用実績などその内容を分析評価するとともに、介護サービス基盤強化のための介護保険法等の改正などを踏まえ、平成24年度から平成26年度までの3年間の計画を策定するものです。

なお、計画の柱となる基本方針を継承するとともに、計画期間内に取り組むべき重点施策を掲げ、高齢者全般にわたる施策を計画的に推進します。

## 2 性格と位置づけ

### (1) 計画の性格

この計画は、超高齢社会に対応した保健・医療・福祉・介護の施策を総合的に推進していくための指針であり、第5期音更町総合計画（計画期間：平成23年度から平成32年度までの10年間）を基本とし、今後3年間に取り組む施策、事業、目標量等を具体的に示すものです。

## (2) 計画の位置づけ

この計画は、老人福祉法第20条の8の規定に基づく「老人福祉計画」に高齢者保健施策を包括した「高齢者保健福祉計画」と介護保険法第117条の規定に基づく「介護保険事業計画」を一体的に策定したものであり、「第5期音更町総合計画」の部分計画として位置づけるものです。

## (3) 計画の期間

この計画の期間は、第1期及び第2期においては5年間とし、介護保険事業運営期間に当たる3年ごとに見直しを行ってきたところですが、平成17年の介護保険法第117条の改正により、市町村介護保険事業計画の期間が3年となったことから、第3期以降の計画は3年間とし、第4期計画は平成21年度から平成23年度までの3年間で策定し、第5期計画においても、平成24年度から平成26年度までの3年間で策定するものです。

## (4) 圏域の調整

この計画は、本町独自の計画ですが、広域的な観点で推進すべき事業については、十勝高齢者保健福祉圏域内市町村の計画と整合性を図ります。

## 3 基本指標の設定

この計画は、平成27年の高齢者介護の姿を念頭に、第3期計画策定時に定めた平成26年度までに実現する目標を達成する仕上げの計画として第5期計画を位置づけ、基本となる総人口、高齢者人口等を次のように想定します。

年 度	総人口 (人)	40～64 歳 (人)	前期高齢者人口 (65～74歳)		後期高齢者人口 (75歳～)		高齢者人口計	
			人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
平成24年度	45,786	15,563	5,422	11.8	5,087	11.1	10,509	23.0
平成25年度	46,137	15,749	5,595	12.1	5,226	11.3	10,821	23.5
平成26年度	46,487	15,934	5,769	12.4	5,364	11.5	11,133	23.9

## 4 基本方針

### (1) 基本理念

この計画は、高齢者が「健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことのできるまちづくり」を目指し、「人間性の尊重」と「自立・共生・連帯」を基本理念として推進します。

### (2) 基本目標

この計画の基本理念を実現するため、次の基本目標を設定します。

#### ① 健康で生きいきと暮らせるまちづくり

誰もが迎える高齢期を健やかに生きいきと暮らすためには、日頃から健康的な生活習慣を身につけることが重要です。

加齢に伴う身体機能の低下や疾病、生活上の障がいは必然的な現象ですが、健やかに暮らせる期間をできるだけ長く保てるよう、健康の保持・増進を図るための施策を充実し、生涯にわたる健康づくりを積極的に推進します。

また、疾病の予防や地域リハビリテーションを充実させ、寝たきりや認知症の防止など介護予防対策を重点的に推進するとともに、高齢者はもとより全ての町民が安心して気軽に利用できる地域に密着した保健・医療体制の確立に努めます。

#### ② 生きがいのある充実した暮らしができるまちづくり

高齢期を心豊かに過ごすためには、積極的に社会活動に参加し、長年培った知識や経験を生かしていくことが重要です。

高齢者が地域社会の一員としての役割を果たしながら、芸術、文化、スポーツ等の活動に積極的に参加し、人生に刻まれた年輪に一層の輝きを加えるために、自らの可能性をさらに追求する活力ある地域づくりを進めます。

そのため、自主的に生きがいを創りあげる組織的な活動を支援するとともに、趣味や学習、地域活動、就労等の機会拡充に努めます。

#### ③ 快適に暮らせるまちづくり

超高齢社会におけるまちづくりは、自然環境、生活環境、都市環境を保健・福祉の視点から捉え、高齢者や障がい者の生活形態や行動能力に応じた安全で快適な環境を整えることが重要です。

高齢者や障がい者に住みよいまちは、すべての人が住みよいまちであることを認識し、思いやりとやさしさにあふれるまちづくりを推進します。

#### ④ ふれあいのあるまちづくり

高齢者は、一般に日常生活の大半を家庭や地域で過ごしており、地域社会は高齢者にとって生活の基盤です。

高齢者が、住み慣れた家族や地域社会の中で可能な限り生活を続けていくためには、日常的に人々とのふれあいを深めることが重要です。

そのため、高齢者自身を含めたすべての人々が共通理解のもと、無理なく支援に参加し、また、支援を受ける意識を醸成するとともに、誰もが老いを自らの問題として捉え、それぞれの世代や立場にふさわしい役割を担いつつ、地域全体で高齢者を支えあう環境づくりを推進します。

#### ⑤ 安心して暮らせるまちづくり

高齢者は、介護が必要な状態になっても、家庭や地域において一人の人間として尊厳が大切にされ、日々安らかに過ごすことを願っており、核家族化や女性の社会参加が進み、家族が介護のすべてを担うことが現実的に困難な現代社会の中で、高齢者本人やその家族が希望するサービスを気兼ねなく利用でき、さらには、介護者の身体的、精神的負担を軽減し、安心して在宅生活を続けるための体制の確保が重要です。

そのため、居宅サービスと施設サービスを両輪として、従来からの介護サービスの一層の充実を図るため、地域包括支援センター体制を強化し、地域における包括的・継続的なケアマネジメントの支援、総合相談・支援や介護予防ケアのマネジメントに積極的に取り組み、要介護状態の軽減、悪化の防止や要介護状態となることの予防、認知症対策を推進します。

また、地域における継続的な支援体制を確立するため、地域密着型サービスの提供体制を整備するほか、より重度の要介護者に重点を置き、かつ、在宅での生活に近い施設サービスを推進するなど、介護ニーズに対応できるサービスの基盤整備とその質的向上を官民協働で進めます。



### (3) 重点施策

この計画において、重点的に取り組む施策を次のとおり掲げます。

#### 1 介護予防の推進

健康で生きいきとした生活を送るための健康づくりや介護予防、閉じこもりを防止する生活支援など積極的な施策を推進します。

また、要介護状態になる前から要支援等に至るまでの高齢者に対し、連続的に一貫性を持ったマネジメントによる介護予防を実施し、要介護状態の発生や悪化を抑える対策を推進するとともに、介護予防事業の評価事業を行い、介護予防の効果を検証します。

#### 2 認知症高齢者支援対策の推進

認知症高齢者に対し、専門的観点から適切なアセスメントを行うとともに、地域住民等に対する認知症に対する理解の促進を図り、認知症対応型共同生活介護の拡充など高齢者の尊厳を支える継続的な支援体制の充実を図ります。

#### 3 地域生活支援体制（地域ケア体制）の整備

高齢者が介護や何らかの支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう利用者一人ひとりの生活支援ニーズに応じた包括的かつ継続的マネジメント体制を構築し、総合相談・支援の強化と介護予防マネジメントの適切な実施に取り組みます。

#### 4 高齢者の積極的な社会参加

明るく活力に満ちた高齢社会を確立するため、高齢者自身が地域社会の中で自らの経験と知識を活かし、積極的な役割を果たしていく社会づくりに努めます。

#### 5 高齢者の権利擁護

高齢者が抱える問題の早期発見のための取組、その他権利を擁護するために必要な援助に努めます。

#### 6 介護サービス基盤の整備

高齢者が介護を必要とする状態になっても、可能な限り住み慣れた地域や環境の中で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、在宅生活を支援するサービスの充実に努めるとともに、地域密着型サービスの充実に努めるなど、居宅・施設サービス両面における基盤整備を推進します。

## 5 計画の推進

### (1) 役割分担

この計画の推進に当たっては、行政や医療機関、介護サービス事業者、社会福祉団体、民生委員、ボランティア、地域等がそれぞれの役割を分担し、社会全体で高齢者を支えることが必要です。

そのため、音更町地域ケア会議を核として地域のネットワークづくりを進め、相互に情報を共有することによって意志疎通を図り、信頼関係を構築し、それぞれが持つ資源や供給能力に応じた役割分担を推進します。

### (2) 計画の進行管理

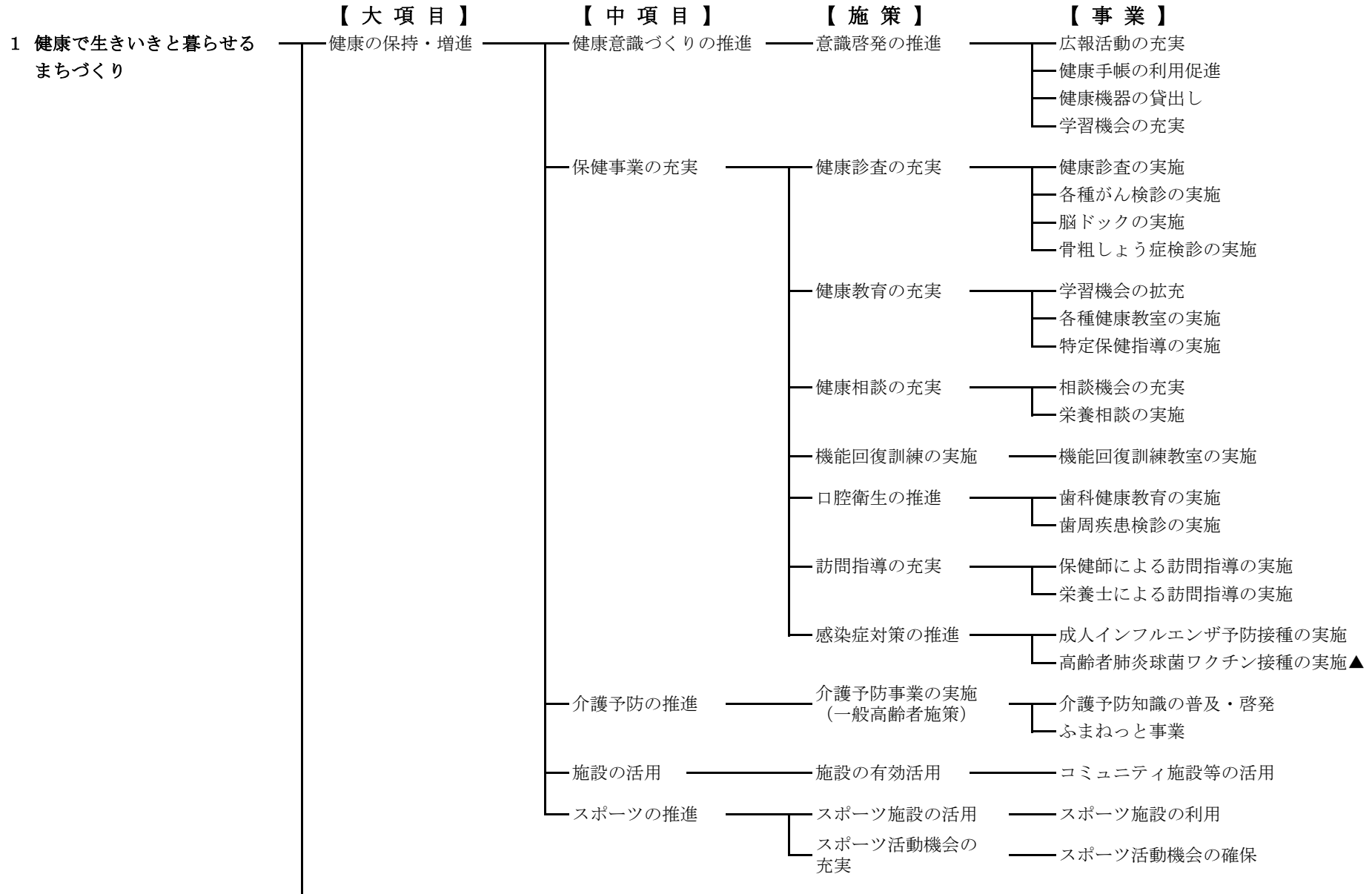
この計画は、医療・保健・福祉分野の関係者、識見者及び介護保険の被保険者で構成する音更町介護保険事業等運営協議会において、定期的に進捗状況等を把握するとともに、次期計画の策定に向けた取組を進めます。

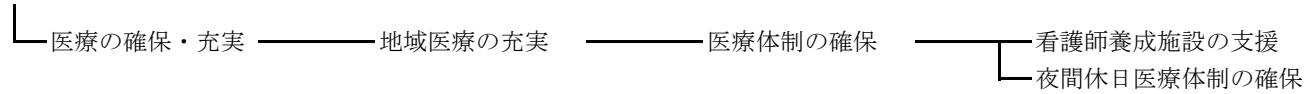
なお、庁内で組織する高齢化対策推進会議及び高齢化対策検討委員会で、諮問する内容等について、調査・研究・検討を行います。



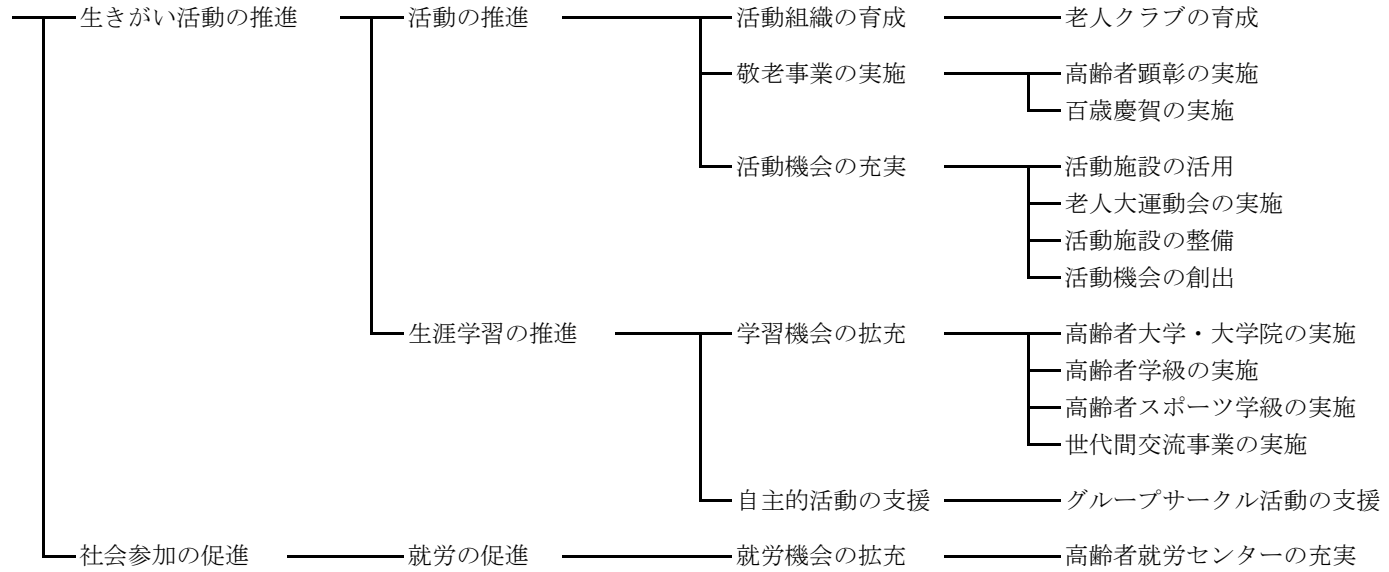
基本目標の実現を目指し、次のとおり計画の施策体系を設定します。

※ ▲印は、第4期計画と比較して向上を図る事業

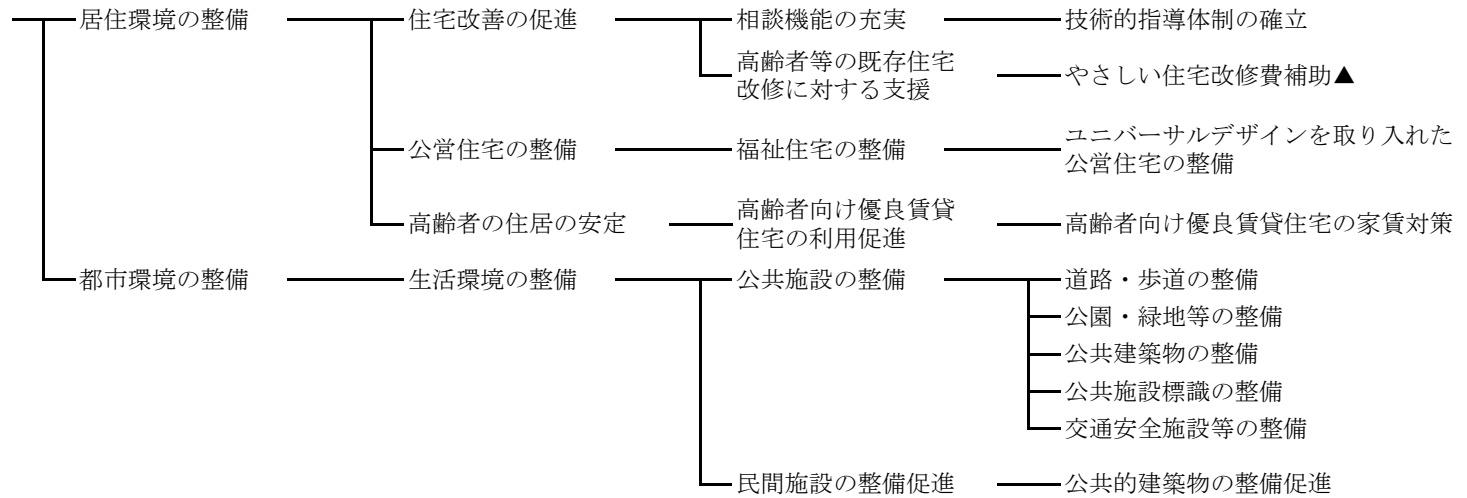




2 生きがいのある充実した暮らしができるまちづくり



3 快適に暮らせるまちづくり



4 ふれあいのあるまちづくり

—— 地域福祉活動の推進

福祉教育の推進

福祉意識の普及・啓発

福祉学習の促進

福祉実践校の育成

地域福祉活動の推進

活動組織の育成・支援

社会福祉協議会の充実

ボランティア団体の育成

地区・地域組織の育成

介護者会及び支援組織の育成

NPO法人等の福祉活動の参加促進

地域交流サロン事業

共生型事業▲

5 安心して暮らせるまちづくり

在宅サービスの実施

地域支援事業等の充実

地域包括支援センターの充実・強化

介護予防ケアマネジメントの実施

総合相談・支援の実施

権利擁護事業

包括的・継続的マネジメントの支援

地域支援事業の充実

特定高齢者（二次予防事業対象者）の把握・管理

転倒骨折予防教室の実施

口腔機能向上教室『健ロクラブ』の実施

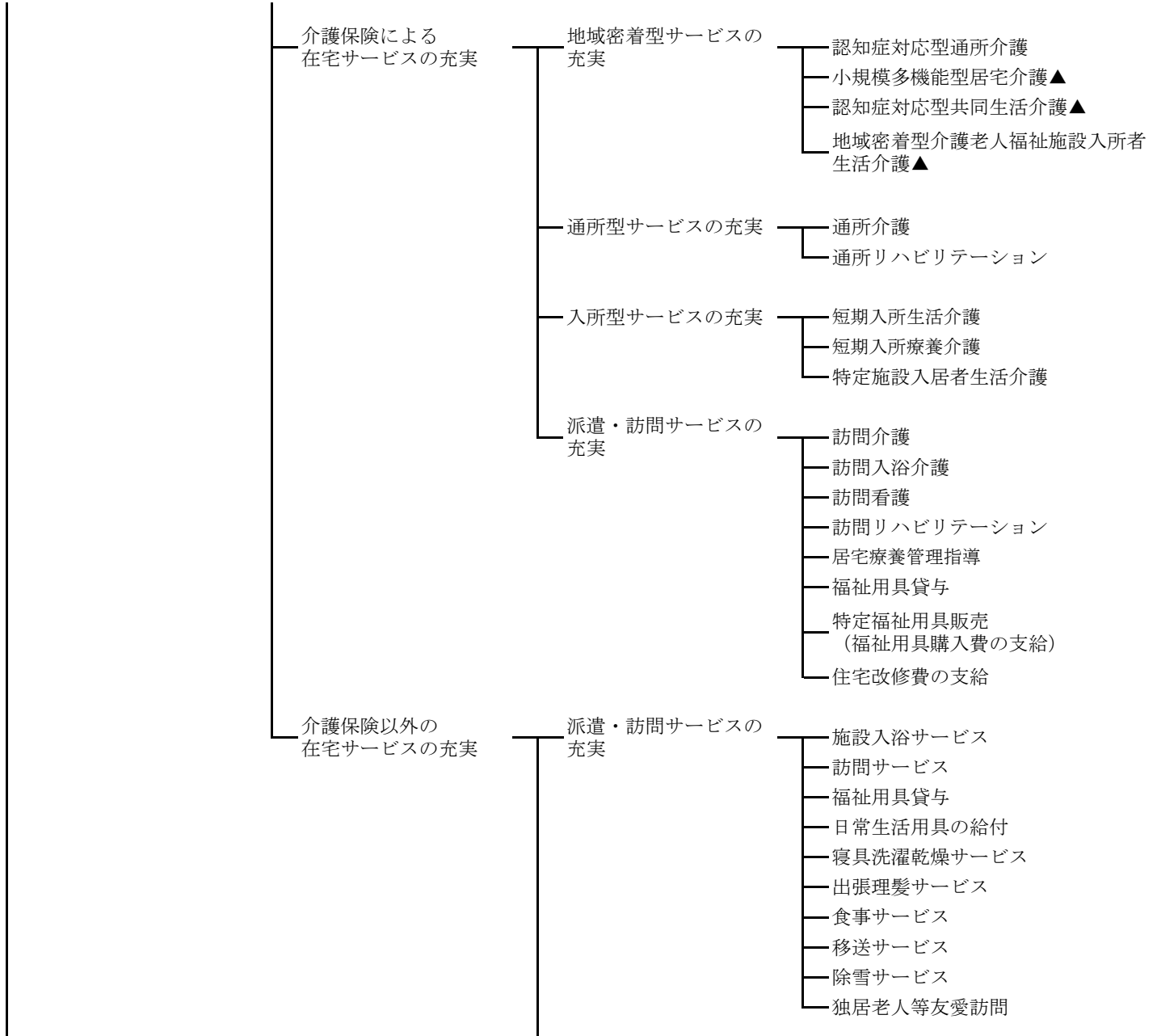
栄養改善プログラム

『げんき栄養教室』の実施

介護予防評価事業

生きがいショートステイ

通所型介護予防教室『すまいる』の実施▲



介護保険による  
在宅サービスの充実

地域密着型サービスの  
充実

- 認知症対応型通所介護
- 小規模多機能型居宅介護▲
- 認知症対応型共同生活介護▲
- 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護▲

通所型サービスの充実

- 通所介護
- 通所リハビリテーション

入所型サービスの充実

- 短期入所生活介護
- 短期入所療養介護
- 特定施設入居者生活介護

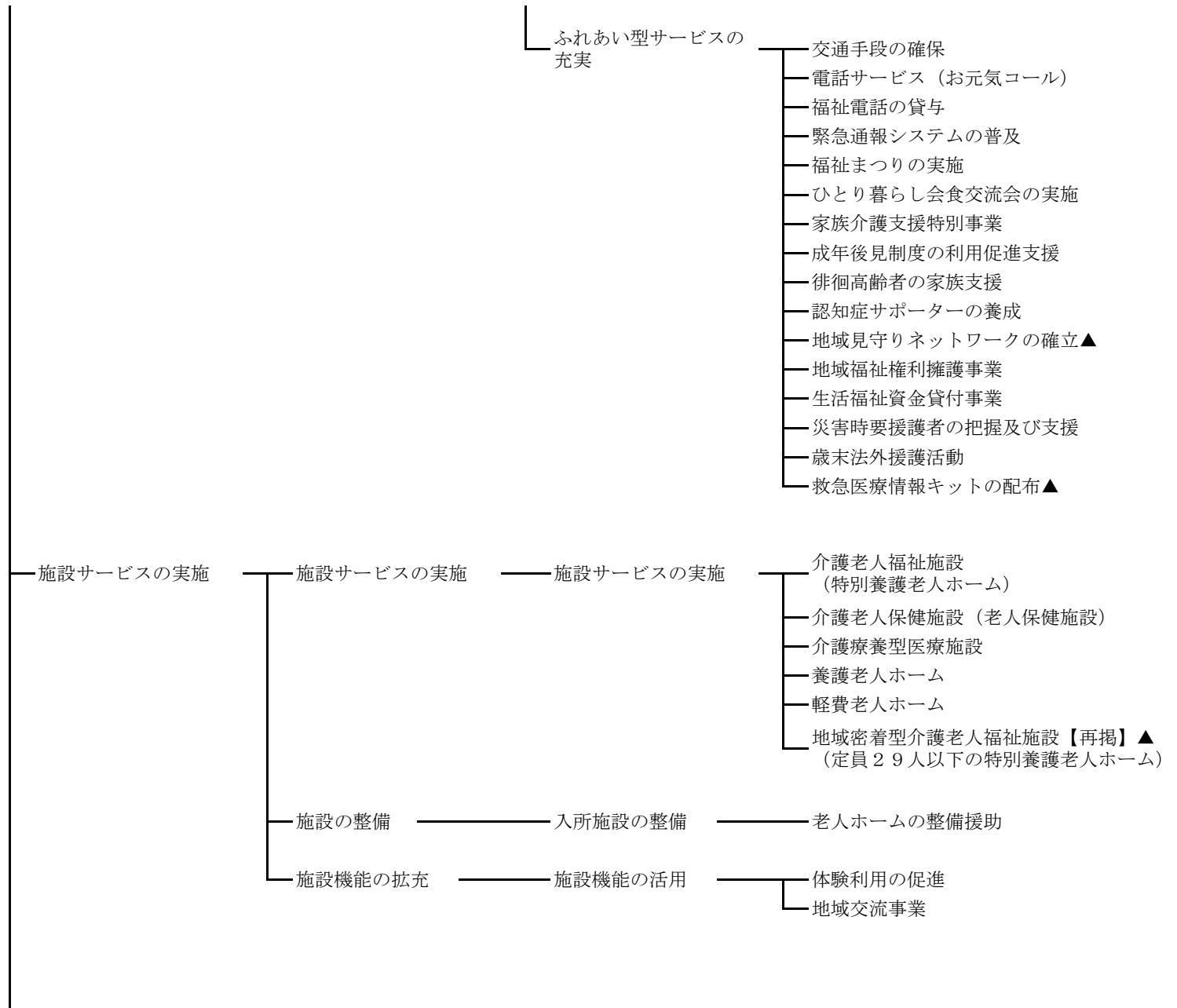
派遣・訪問サービスの  
充実

- 訪問介護
- 訪問入浴介護
- 訪問看護
- 訪問リハビリテーション
- 居宅療養管理指導
- 福祉用具貸与
- 特定福祉用具販売  
(福祉用具購入費の支給)
- 住宅改修費の支給

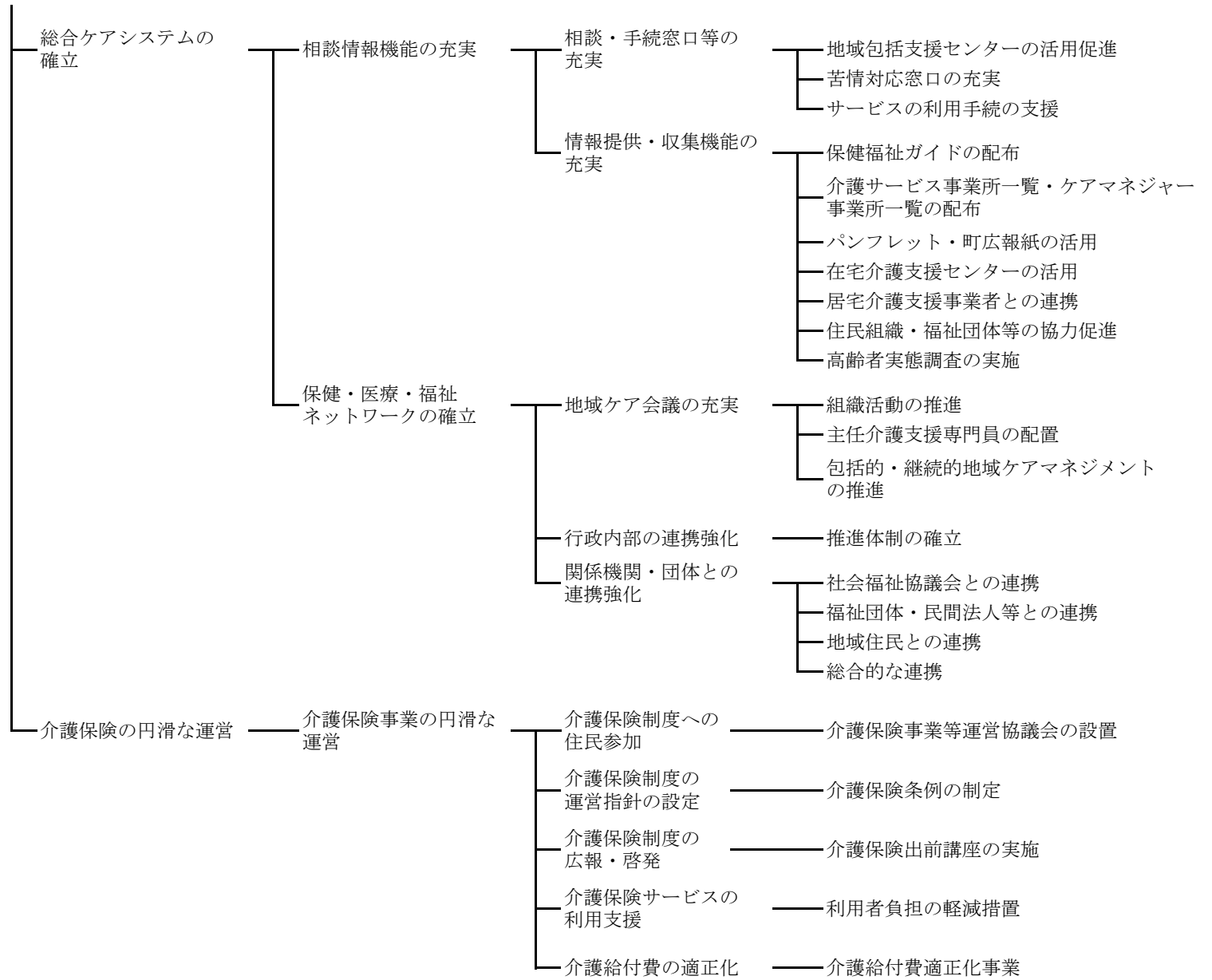
介護保険以外の  
在宅サービスの充実

派遣・訪問サービスの  
充実

- 施設入浴サービス
- 訪問サービス
- 福祉用具貸与
- 日常生活用具の給付
- 寝具洗濯乾燥サービス
- 出張理髪サービス
- 食事サービス
- 移送サービス
- 除雪サービス
- 独居老人等友愛訪問









# 1 健康の保持・増進

## 《健康意識づくりの推進》

### (1) 健康手帳の利用促進

各集団検診・健康相談時に健康手帳を発行し、検診、相談の記録を残すことで健康の自己管理を支援します。

○ 実施状況

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
健康手帳交付者数	222人	225人	230人

### (2) 健康機器の貸出し（健康づくりライブラリー）

万歩計、体脂肪計、DVDなどを貸し出し、健康づくりの意識の啓発を目指します。

○ 実施状況

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
健康機器貸出数	70件	95件	100件

### (3) 学習機会の充実

個人の健康づくりの意識を高め、家庭や地域での健康づくりに貢献できるよう継続的な学習機会を提供します。

○ 実施状況

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
実施回数	6回	6回	6回
参加延べ人数	75人	40人	40人

## 《保健事業の充実》

### (1) 健康診査の充実

基本健診やがん検診を実施し、早期発見・早期治療に努めます。  
多くの方が受診できる体制の充実を図るとともに健診・検診の必要性を啓発します。

#### ○ 実施状況

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
後期高齢者健診 (75歳以上)	対象者数	4,548人	4,461人	4,400人
	受診者数	964人	909人	1,000人
	受診率	21.2%	20.4%	22.7%
胃がん検診 (35歳以上)	対象者数	13,003人	13,254人	13,389人
	受診者数	1,519人	1,485人	1,500人
	受診率	11.7%	11.2%	11.2%
肺がん検診 (35歳以上)	対象者数	13,003人	13,254人	13,389人
	受診者数	1,386人	1,418人	1,435人
	受診率	10.7%	10.7%	10.7%
大腸がん検診 (35歳以上)	対象者数	13,003人	13,254人	13,389人
	受診者数	1,485人	1,476人	1,800人
	受診率	11.4%	11.1%	13.4%
前立腺がん検診 (50歳以上)	対象者数	3,930人	3,997人	4,047人
	受診者数	231人	271人	280人
	受診率	5.9%	6.8%	6.9%
子宮がん検診 (20歳以上)	対象者数	8,725人	8,832人	8,932人
	受診者数	1,585人	1,676人	1,800人
	受診率	31.0%	36.9%	38.9%
乳がん検診 (40歳以上)	対象者数	6,112人	6,237人	6,337人
	受診者数	1,104人	1,084人	1,200人
	受診率	28.1%	35.1%	36.0%

※子宮がん、乳がん検診は、平成17年度から隔年受診

※基本健診は、医療法の改正により平成20年度から特定健診、後期高齢者の健診に移行されました。

※前立腺がん検診は、平成19年度から町単独事業で実施しています。

### (2) 脳ドックの実施

脳血管疾患の早期発見のための助成を行っています。

#### ○ 実施状況

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
受診者数	150人	200人	250人

### (3) 骨粗しょう症検診の実施

骨粗しょう症の予防、早期発見・早期治療に努めます。

○ 実施状況

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
受 診 者 数	411人	398人	380人

### (4) 健康教育の充実

健康ゼミナールとして、地域、団体への健康教育、生活習慣病を予防するために高脂血症や肥満などの病態別教室、個別健康教育を実施しています。

○ 実施状況

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
一 般	実施回数	12回	5回	10回
	延べ人数	404人	180人	200人
病 態	実施回数	33回	36回	30回
	延べ人数	348人	209人	300人

### (5) 健康相談の充実

定例日を設定し、木野・音更の2会場で栄養相談と併せて実施するほか、電話や来所による相談を随時受けています。

生活習慣病の予防改善のためにも有効に利用してもらえるよう周知を図ります。

○ 実施状況

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
一 般	実施回数	319回	348回	350回
	延べ人数	719人	966人	1,000人
栄養相談	実施回数	58回	32回	35回
	延べ人数	62人	33人	35人

### (6) 機能回復訓練の実施

介護保険を利用する高齢者が多くなり年々参加者数が減少していますが、参加者同士の交流は盛んです。仲間づくりを中心とした支援を継続します。

○ 実施状況

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
実 施 回 数	12回	12回	12回
参加延べ人数	65人	64人	60人

## (7) 口腔衛生の推進

歯周病の早期発見とともに、予防の意識づけとして歯周疾患検診を実施しています。  
多くの方が受診できるように周知を図ります。

### ○ 実施状況

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
歯周疾患検診受診者数	130人	112人	120人

※平成20年度から個別検診に加え集団検診も実施

## (8) 訪問指導の充実

生活習慣病や高齢者の健康支援のための家庭訪問を実施しています。

### ○ 実施状況

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
保 健 師	21人	10人	15人
栄 養 士	0人	5人	5人

## (9) 成人インフルエンザ予防接種の実施

インフルエンザによる重症化予防のための助成を行っています。

### ○ 実施状況

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
接 種 者 数	4,675人	5,292人	5,300人

## (10) 高齢者肺炎球菌ワクチン接種の実施

肺炎球菌による重症化予防のための助成を行っています。

### ○ 実施状況

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
接 種 者 数		300人	300人

## 2 地域支援事業及び一般的施策に係る介護事業の現状及び利用状況

### (1) 高齢者等の生活支援事業

在宅福祉の支援のため、移送サービス、寝具洗濯乾燥サービス、訪問サービス、お元気コール、出張理髪サービスを実施しています。

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
移送サービス	251回	208回	200回
寝具洗濯乾燥サービス	29人	27人	25人
訪問サービス	14人	11人	8人
お元気コール	3,018回	3,091回	3,150回
出張理髪サービス	178回	147回	120回

### (2) 介護予防・生きがい活動支援

在宅福祉の支援のため、生きがいデイサービス、生きがいショートステイを毎年実施しています。特定高齢者等を対象に平成18年度から介護予防の充実を図る目的で、転倒骨折予防教室の拡充、寄り合い所の開設を行い、平成20年度からは口腔機能向上教室を新たに開催するなど、介護予防、生きがい活動支援を行っています。なお、平成24年度には、生きがいデイサービスと寄り合い所を統合し、新たな通所型介護予防教室として実施します。

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
生きがいデイサービス	197回	198回	196回
	1,888人	1,992人	1,787人
生きがいショートステイ	5日	0日	2日
転倒骨折予防教室	231回	230回	235回
	1,181人	1,693人	2,243人
寄り合い所事業	44回	45回	46回
	300人	346人	389人
口腔機能向上教室	12回	12回	12回
	97人	134人	110人
栄養改善教室		6回	6回
		22人	25人

### (3) 家族介護支援

在宅福祉の支援のため、介護用品の支給、家族介護者交流、徘徊高齢者家族支援、家族介護慰労金支給事業を実施しています。

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
介護用品の支給	112人	89人	83人
家族介護者交流	24人	26人	33人
徘徊高齢者家族支援	0人	0人	0人
家族介護慰労金支給	0人	1人	0人

※「徘徊高齢者家族支援」とは、携帯端末を貸与し、人口衛星と携帯端末の電波により徘徊高齢者を発見する位置情報提供サービスを提供することにより、徘徊行動を起こす認知症高齢者を在宅で介護している家族を支援する事業です。

#### (4) その他

在宅福祉の支援のため、緊急通報装置の設置を行っています。また、加齢や障がい等により判断能力が不十分な方の権利擁護のために成年後見の市町村長申立を行うなど制度の普及啓発を図っています。

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
緊急通報装置	327世帯	306世帯	304世帯
成年後見制度利用支援	申立 1件	申立 3件	申立 1件



### 3 介護保険給付対象サービスの現状及び利用状況

#### (1) 要介護者等の推移

要介護（要支援）認定者は、計画数値を下回っていますが、今後も高齢者人口の伸びに伴い、増加する見込みです。

(単位：人)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	1,709	1,793	1,883
実 績	1,673	1,739	1,762
達 成 率	97.89%	96.99%	93.57%

#### (2) 居宅介護（支援）サービス受給者の推移

要介護認定者の増加に伴い、年々介護サービスを利用する人が増えてきており、今後も増える見込みです。介護サービスを利用しない人は、「福祉用具購入・住宅改修を利用し、家族が介護をしている」、「長期入院」等の方です。

なお、計画数値は、要介護認定者数から施設サービス、認知症対応型共同生活介護及び特定施設入居者生活介護の利用者を差し引いた居宅サービス対象者のうち、実際に居宅サービスを利用する人を推計しています。

(単位：人)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	846	887	939
実 績	826	891	928
達 成 率	97.64%	100.45%	98.83%

※要支援者を含みます。

#### (3) 介護サービスの利用状況

##### ① 居宅サービスの利用状況

###### ○ 訪問介護

計画数値と比較するとやや利用実績が少ない状況にありますが、居宅サービスの継続に欠かせない不可欠のサービスであるため、要介護認定者の増加に伴い利用増が見込まれます。

(単位：回/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	33,012	34,495	36,534
実 績	34,773	33,386	32,124
達 成 率	105.33%	96.79%	87.93%

###### ○ 訪問入浴介護

計画数値より利用実績が伸びている状況にあり、今後も増加が見込まれます。

(単位：回/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	1,046	1,033	1,039
実 績	1,153	1,251	1,213
達 成 率	110.23%	121.10%	116.75%

## ○ 訪問看護

計画数値より利用実績が少ない状況にありますが、今後も訪問看護ステーションや医療機関との連携を進めて、サービス提供体制の充実に努めます。

(単位：回/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	6,221	6,407	6,659
実 績	5,298	5,139	5,115
達 成 率	85.16%	80.21%	76.81%

## ○ 訪問リハビリテーション

計画数値より利用実績が大幅に伸びており、平成23年度は前年度と比較して少なくなっていますが、今後も利用増が見込まれます。

(単位：回/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	2,469	2,522	2,604
実 績	4,713	4,916	3,908
達 成 率	190.89%	194.92%	150.08%

## ○ 居宅療養管理指導

計画数値より利用実績が大幅に伸びており、在宅介護の充実に努めるうえからも今後も利用増が見込まれます。

(単位：件/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	620	650	680
実 績	757	1,093	1,032
達 成 率	122.10%	168.15%	151.76%

## ○ 通所介護

計画数値より利用実績が伸びている状況にあり、今後も利用増が見込まれます。

(単位：回/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	23,227	24,422	25,972
実 績	29,976	32,107	29,711
達 成 率	129.06%	131.47%	114.40%

## ○ 通所リハビリテーション

計画数値より利用実績が少ない状況にありますが、年々利用者が増加しており、今後も利用増が見込まれます。

(単位：回/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	15,072	15,809	16,802
実 績	12,366	13,676	15,001
達 成 率	82.05%	86.51%	89.28%

### ○ 短期入所生活介護

計画数値より利用実績が伸びている状況にあり、今後も利用増が見込まれます。

(単位：日/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	4,771	4,867	5,101
実 績	5,096	6,377	6,589
達 成 率	106.81%	131.03%	129.17%

### ○ 短期入所療養介護

大幅に利用が伸びた平成21年度を除き、ほぼ計画どおりの利用となっている状況にありますが、今後は利用増が見込まれます。

(単位：日/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	1,531	1,580	1,675
実 績	2,140	1,660	1,611
達 成 率	139.78%	105.06%	96.18%

### ○ 特定施設入居者生活介護

ほぼ計画どおり推移してきましたが、平成23年度になって施設の増加とともに利用実績が大幅に伸びている状況にあります。また、近隣市町における施設整備も予定されていることから、今後も利用増が見込まれます。

(単位：人/月)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	38	38	38
実 績	40	39	59
達 成 率	105.26%	102.63%	155.26%

### ○ 福祉用具貸与

計画数値より利用実績が伸びている状況にあり、今後も利用増が見込まれます。

(単位：件/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	3,217	3,299	3,462
実 績	3,685	3,972	3,940
達 成 率	114.55%	120.40%	113.81%

### ○ 特定福祉用具販売

計画数値より利用実績が少ない状況にありますが、今後も要介護者が安心して在宅生活を送るために、利用が見込まれます。

(単位：件/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	125	130	135
実 績	96	71	77
達 成 率	76.80%	54.62%	57.04%

## ○ 認知症対応型通所介護

計画数値より利用実績が少ない状況にありますが、今後、認知症高齢者が増加する見込みであることから、認知症の特性に配慮した通所介護の利用増が見込まれます。

(単位：回/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	2,461	2,678	2,751
実 績	1,710	1,724	2,361
達 成 率	69.48%	64.38%	85.82%

## ○ 小規模多機能型居宅介護

ほぼ計画数値どおりの利用実績になっていますが、第5期計画の前倒しとして平成24年3月から1か所事業所が増え、2事業所で50人定員の規模となることから、今後の利用増が見込まれます。

(単位：人/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	264	264	264
実 績	257	275	255
達 成 率	97.35%	104.17%	96.59%

## ○ 認知症対応型共同生活介護

平成21年3月に1か所事業所が増えたことにより、5事業所で81人定員の規模となり、ほぼ計画どおり推移しています。

(単位：人/月)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	71	89	89
実 績	65	79	83
達 成 率	91.55%	88.76%	93.26%

## ○ 住宅改修

平成22年度からは計画数値より利用実績がやや少ない状況にありますが、今後も要介護者が安心して在宅生活を送るために、利用が見込まれます。

(単位：件/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	82	85	85
実 績	99	80	80
達 成 率	120.73%	94.12%	94.12%

## ○ 居宅介護支援

計画数値より利用実績がやや少ない状況にありますが、要介護者の居宅サービスを支えるため、今後も個々の状態に応じた適切なケアマネジメントが求められています。

(単位：件/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	7,504	7,861	8,348
実 績	7,226	7,305	7,279
達 成 率	96.30%	92.93%	87.19%

## ② 介護予防サービスの利用状況

### ○ 介護予防訪問介護

計画数値より利用実績が少ない状況にありますが、要支援者が増加する見込みであることから、今後の利用増が見込まれます。

(単位：人/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	1,036	1,090	1,144
実 績	875	958	1,020
達 成 率	84.46%	87.89%	89.16%

### ○ 介護予防訪問看護

計画数値より利用実績が大幅に少ない状況にあります。

(単位：回/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	825	868	911
実 績	286	436	459
達 成 率	34.67%	50.23%	50.38%

### ○ 介護予防訪問リハビリテーション

計画数値より利用実績が大幅に伸びている状況にあり、今後も利用増が見込まれます。

(単位：回/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	327	345	362
実 績	379	458	510
達 成 率	115.90%	132.75%	140.88%

### ○ 介護予防居宅療養管理指導

計画数値より利用実績が大幅に少ない状況でありましたが、平成23年度には、ほぼ計画どおりの利用実績となっています。

(単位：件/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	24	24	24
実 績	2	1	22
達 成 率	8.33%	4.17%	91.67%

### ○ 介護予防通所介護

ほぼ計画どおりの利用実績になっており、今後も利用が見込まれます。

(単位：人/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	1,006	1,082	1,156
実 績	997	995	1,140
達 成 率	99.11%	91.96%	98.62%

○ 介護予防通所リハビリテーション

平成21年度はほぼ計画数値どおりの利用実績でしたが、平成22年度からは利用実績が伸びている状況にあり、今後も利用が見込まれます。

(単位：人/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	483	508	533
実 績	454	601	558
達 成 率	94.00%	118.31%	104.69%

○ 介護予防短期入所生活介護

計画数値より利用実績が少ない状況にありますが、平成23年度には計画を大幅に上回る利用実績がありました。

(単位：日/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	152	160	168
実 績	103	143	221
達 成 率	67.76%	89.38%	131.55%

○ 介護予防短期入所療養介護

計画数値より利用実績が少ない状況にあります。

(単位：日/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	74	77	81
実 績	38	54	65
達 成 率	51.35%	70.13%	80.25%

○ 介護予防特定施設入居者生活介護

ほぼ計画どおり推移していましたが、平成23年度には施設の増加とともに利用実績が大幅に伸びている状況にあります。また、近隣市町における施設整備も予定されていることから、今後も利用増が見込まれます。

(単位：人/月)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	9	9	9
実 績	7	8	11
達 成 率	77.78%	88.89%	122.22%

○ 介護予防福祉用具貸与

平成21年度は計画数値より利用実績が少ない状況にありましたが、平成22年度からは利用実績が大幅に伸びている状況にあり、今後も利用増が見込まれます。

(単位：件/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	504	530	556
実 績	436	660	932
達 成 率	86.51%	124.53%	167.63%

### ○ 特定介護予防福祉用具販売

計画数値より利用実績が伸びている状況にあり、今後も要支援者が安心して在宅生活を送るために、利用が見込まれます。

(単位：件/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	29	29	29
実 績	47	31	39
達 成 率	162.07%	106.90%	134.48%

### ○ 介護予防認知症対応型通所介護

計画段階においては利用を見込んでいませんでしたが、地域密着型サービスの浸透により、今後も利用が見込まれます。

(単位：回/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
実 績	19	90	36

### ○ 介護予防小規模多機能型居宅介護

計画数値より利用実績が少ない状況にありますが、地域密着型サービスの浸透により、サービスの特色を生かし、今後の利用増が見込まれます。

(単位：人/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	36	36	36
実 績	23	17	17
達 成 率	63.89%	47.22%	47.22%

### ○ 住宅改修

今後も要支援者が安心して在宅生活を送るために、利用が見込まれます。

(単位：件/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	40	40	40
実 績	47	39	45
達 成 率	117.50%	97.50%	112.50%

### ○ 介護予防支援

計画数値より利用実績が上回っており、今後も個々の状態に応じた適切なケアマネジメントが求められています。

(単位：件/年)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	2,180	2,294	2,408
実 績	2,294	2,569	2,892
達 成 率	105.23%	111.99%	120.10%

#### (4) 施設サービスの利用状況

##### ○ 介護老人福祉施設

現在町内には2施設、172床を有しており、計画数値より利用実績が若干少ない状況にありますが、今後も利用が見込まれます。

(単位：人/月)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	180	180	180
実 績	174	167	161
達 成 率	96.67%	92.78%	89.44%

##### ○ 介護老人保健施設

現在町内には100床の施設が2か所あり、ほぼ計画どおり推移しています。

(単位：人/月)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	154	154	154
実 績	150	149	157
達 成 率	97.40%	96.75%	101.95%

##### ○ 介護療養型医療施設

平成23年度をもって廃止の予定でしたが、廃止猶予期間が平成29年度末に延長されました。

(単位：人/月)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計 画	3	3	3
実 績	2	1	3
達 成 率	66.67%	33.33%	100.00%

##### ○ 地域密着型介護老人福祉施設（計画・利用実績なし）

本町ではこれまで利用実績はありませんが、第5期計画の前倒しとして、平成24年3月に1施設29床が整備されたので、今後の利用が見込まれます。

※第4章の平成23年度の実績はすべて見込みで掲載しています。